

記者発表資料
平成23年6月22日
下水道課
内線3142 飯坂, 高橋
原子力安全対策室
内線2607 榎野, 伊藤

宮城県内の下水汚泥の放射能測定結果及び 下水処理場内の空間線量率測定結果について

宮城県が管理する流域下水道で発生した下水汚泥について、東北大学の協力を得て放射能測定を行いましたので、その結果についてお知らせします。また、流域下水道と市町村が管理する公共下水道の処理場内において空間線量率を測定しましたので、併せて結果をお知らせします。

1 下水汚泥放射能測定結果

- (1) 採取年月日及び測定年月日 平成23年6月7日, 平成23年6月16日
- (2) 測定分析機関 東北大学（東北大学への協力依頼）
- (3) 測定結果
測定した結果は以下のとおりです。

(単位: Bq/kg)

	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム合計
仙塩浄化センター (多賀城市)	検出限界以下	64	44	108
鹿島台浄化センター (大崎市)	検出限界以下	64	127	191
大和浄化センター (大和町)	検出限界以下	検出限界以下	検出限界以下	検出限界以下
石巻浄化センター (石巻市)	検出限界以下	27	61	88
石越浄化センター (登米市)	検出限界以下	43	43	86

※県南浄化センター及び石巻東部浄化センターでは、現在、汚泥の引き抜き及び脱水処理を行っていないため、対象外とした。

(4) 評価

平成23年6月16日付け原子力災害対策本部通知「放射性物質が検出された上下水処理等副次産物の当面の取り扱いに関する考え方」に基づき、セシウムの合計値が8,000 Bq/kgを超過する場合は、脱水汚泥等の保管及び埋め立て処分を行う上で制限が適用されることとなっている。今回の測定値はこの基準値を大幅に下回っていた。

(5) 今後の脱水汚泥の処分方針

今回の結果を元に現在処分を委託している最終処分場及びコンポスト施設と協議を行い、問題がないと判断されれば、処分の委託を継続するものとする。また、現在停止中のセメント原料としての搬出についても、工場側の了解が得られれば処分の委託を再開する予定。

2 下水処理場内の空間線量率測定結果

- (1) 測定日：平成 23 年 5 月 18 日～6 月 16 日
- (2) 対象施設：県内下水処理場 14 箇所（流域下水道 6 箇所 公共下水道 8 箇所）
- (3) 測定者：県土木部下水道課担当者
- (4) 測定器：NaI シンチレーションカウンター 日立アロカ製 TCS-172
- (5) 測定箇所 ①敷地境界②下水流入部③水処理系列付近④汚泥脱水機付近
- (6) 測定結果
測定した結果は以下のとおりです。

対象下水処理場

流域 下水道	多賀城市	仙塩浄化センター
	岩沼市	県南浄化センター
	大崎市	鹿島台浄化センター
	大和町	大和浄化センター
	石巻市	石巻浄化センター
	登米市	石越浄化センター
公共 下水道	石巻市	飯野川浄化センター
	大崎市	師山浄化センター
	登米市	佐沼浄化センター
	川崎町	釜房浄化センター
	七ヶ宿町	関浄化センター
	松島町	松島浄化センター
	加美町	中新田浄化センター
	涌谷町	涌谷浄化センター

※県南浄化センターでは応急対応中につき、水処理系列内及び汚泥脱水機付近での測定は行っていない。また、飯野川浄化センターでは汚泥脱水設備がないため、汚泥脱水機付近での測定は行っていない。

測定結果

単位：μ Sv/h

	①敷地境界	②下水流入部	③水処理系列内	④汚泥脱水機 付近
最大値	0.380	0.294	0.189	0.080
最小値	0.087	0.037	0.033	0.038
平均値	0.132	0.072	0.085	0.057

(7) 評価

- ・ほとんどの処理場において、敷地境界での測定値が最も高かったが、県内の空間線量率測定結果と比較して大きな違いはなかった。
- ・建屋内の下水流入部及び汚泥脱水機付近での測定値は一般に低い値であった。
- ・以上のことから流入下水及び汚泥に起因する空間線量率の上昇はきわめて軽微なものと推定される。